



見つけて。さつま町のいろ。

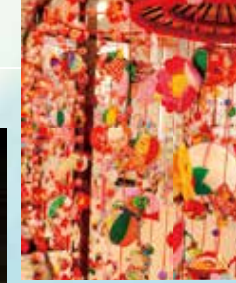


さつまいろ

“satsuma-iro”



人が、
まちが、
自然が、
かがやく。
いろいろないろで。



さつまいろ。
それは、紫尾にたなびく雲の色。
川面に映る空の色。
薄墨にひそむ幻想的なホテルの色。
笹の葉の上で輝く露の色。
このまちで、人が織りなす日々の彩り。
さまざまなモザイクが集まって、
繊細な模様を描き出すように、
パレットの絵具が混ざり合い、
新たな色を生み出すように、
このまちの自然と、人の営みが、
このまちの景色を紡ぎだす。
やさしい色、なつかしい色、君の色。



ここにしかない、
さつまいろ。



CONTENTS

町長挨拶 3
 まちの概要 / 目次 4

特集 #1
**山と川。
 さつま町のかお。
 四季のいろ。** 5

特集 #2
**名湯の郷が、
 二つある。** 9

特集 #3
**今に伝える
 さつまの歴史。** 13

特集 #4
**広がる竹林
 2,409ha。
 “竹のまち”さつま。** 17

特集 #5
**成長する。
 地域は人と。
 人は地域と。** 21

伝統工芸 23
 特産品 24
 ブランディング 25
 祭り&イベント 27
 さつま町里山アクティビティ 29
 “さつま町に住みたい!”を応援 31
 商業 33
 ものづくり 34
 農業 35
 教育 37
 子育て・福祉 39
 公共サービス 41
 議会 43
 さつま町の宣言 44
 さつま町MAP 45
 資料編 47
 町民憲章 ほか 49

ごあいさつ

さつま町の3代目の町長として、夢と希望のあるさつま町の未来に向けたまちづくりにまい進しています。

本町は鹿児島県の北西部にあり、標高1,067mの紫尾山や、町を貫流する川内川、田園や竹林、ホテルや温泉など、多くの自然に恵まれた風光明媚な町です。

交通の面では、3つの国道が町の中心で交差し、人や物を運ぶ交通の要衝となっています。また、地域高規格道路である北薩横断道路の整備も進められており、早期完成が強く望まれています。

令和4年3月には、事業者、北さつま農協、町商工会、町観光特産品協会が垣根を越えて結束し、本町の地域ブランド「薩摩のさつま」が誕生しました。同年9月には、「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言」と「希望輝く さつま町SDGs推進宣言」を行い、町を挙げて持続可能なまちづくりの実現に向けて歩みだしています。

この要覧を通して、本町の歴史や文化、自然、活力ある町民の方々など、さまざまな魅力を感じていただき、本町のさらなる発展にご支援ご協力いただければ幸いです。

さつま町長 ^{うえの しゅんいち} 上野 俊市

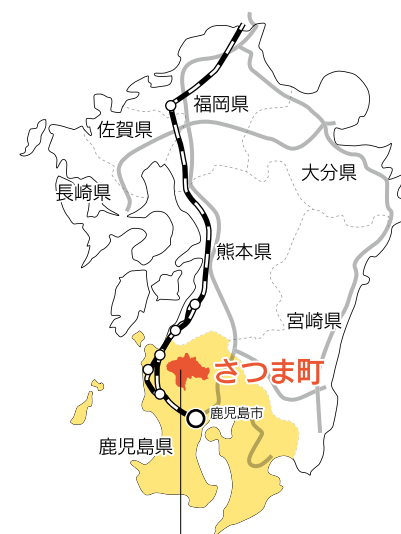
まちの概要

さつま町は鹿児島県北西部に位置し、北部には紫尾山(標高1,067m)があり、総面積は303.90km²です。

町のほぼ中心を南九州一の大河である川内川が貫流しており、5月から6月にかけて数多くのホテルを目にすることができます。

また、温泉や緑豊かな竹林など自然あふれる町です。東に鹿児島空港や九州縦貫自動車道横川IC、西に九州新幹線の川内駅、出水駅などがあり、交通アクセスに恵まれた位置にあります。

基幹産業は農林業で、特に「薩摩中央家畜市場」の子牛取引価格は全国トップクラスです。



車	飛行機	新幹線
鹿児島市 約1時間10分	東京 約2時間	東京駅 約6時間49分
薩摩川内市 約30分	名古屋 約1時間30分	新大阪駅 約4時間13分
出水市 約35分	大阪 約1時間15分	博多駅 約1時間15分
伊佐市 約40分	※鹿児島空港まで ※出水駅まで	
鹿児島空港 約40分		